

大会運営の補助員として活躍した『JLCばらだいす伊万里』の皆さんによる活動報告の様子



『ばらだいす伊万里』によるゲームで会場は盛り上がりました

## 第53回 子ども話し方大会

11月3日、市民図書館で第53回子ども話し方大会がありました。これは、市子ども会連合会が『美しいことばと豊かな心を育てる青少年の集い』をテーマに毎年開催しているもので、各町・地区子ども会から29人（小学生15人、中学生14人）が参加しました。子どもたちは、学校生活やクラブ活動で学んだこと、家族やふるさとへの思いなどについて、自分の体験や考えを力強く発表しました。



山本

### 小学生の部

『沖縄で学んだこと』

山代町子ども会

山本 琥生 さん（山代東小6年）

最優秀賞

### 中学生の部

『ありがとうの心を胸に』

波多津町子ども会

畑山 千寿 さん（青嶺中3年）



『小学生の部』発表者の皆さん



『中学生の部』発表者の皆さん

- ▽『お母さんありがとう』  
東山代町子ども会  
塚本 愛梨 さん  
(国見中3年)
- 《優良賞》  
▽『変わらない道るべ』  
伊万里地区子ども会  
前田 研伍 さん  
(啓成中3年)
- ▽『これからの自分』  
南波多町子ども会  
池田 暁 さん  
(南波多郷学館9年)
- ▽『私が放送をする理由』  
大坪地区子ども会  
湯村 明 さん  
(伊万里中3年)
- 《優秀賞》  
▽『ぼくを変えてくれた野球』  
東山代町子ども会  
松本 悠汰 さん  
(東山代小6年)
- 《優良賞》  
▽『動物が幸せにくらす未来』  
二里町子ども会  
中谷 琉愛夢 さん  
(二里小6年)
- ▽『私にとつての鼓笛』  
伊万里地区子ども会  
松永 凜 さん  
(伊万里小6年)
- ▽『私の大好きな大川町』  
大川町子ども会  
野中 愛理 さん  
(大川小6年)

### 編集室から

子ども話し方大会の取材に行ってきた。家族への思いやクラブ活動など、日々の経験から学んだことを表情豊かに自分の言葉で話す小・中学生たち。彼らの堂々と話す姿に、この日のために何度も練習を重ねてきたことが伝わります。聞く人の心に響く発表に取材に来て良かったと強く感じました。10月下旬に開催された外国人による日本語スピーチコンテストで金賞に輝き、11月28日に帰国した中国・大連市からの公務研修生、陳瑩さんのスピーチを聞く機会がありました。聞き手の心をほっと温かくさせるスピーチに、いろいろな意味で学んだ気がします。陳さんは在日中こう言っていました。『皆さんは私の恩師』だと。謙虚な陳さん。私の恩師です。一年間ありがとうございました。再見！（智）



### 人の動き

令和元年 11月1日現在

●人口	54,618人	(- 54)
●男	26,401人	(- 14)
●女	28,217人	(- 40)
●世帯	23,435世帯	(- 6)
	( )	は前月比

この冊子は、1部当たり約39円で作成されています（人件費など間接経費は含まれていません）。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

広報 伊万里

- 発行日／令和元年 12月1日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係 ☎(0955)23-4313 (直通) 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ <https://www.city.imari.saga.jp/> ●印刷／株式会社三光